

このたびは、当社商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用前に、この説明書をよくお読みの上、未永く愛用くださいますようお願いいたします。**お読みになった後は、大切に保管してください。**

安全上のご注意（必ずお守りください）

本書は、お買い上げいただいた製品を安全にご使用いただくために、特に注意していただくことを表示してあります。取り付けの前に必ずお読みいただき、適切な取扱いをお願いいたします。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。 ■ 取り付け上のご注意（取り付け前に必ずお読みください）

警告 製品の取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。

注意 製品の取扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。

禁止 製品の取扱いにおいて、その行為を「禁止」する内容です。

強制 製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を「強制」する内容です。

■ 使用上のご注意（ご使用前に必ずお読みください）

警告 無理な操作や乱暴な取扱いは、絶対におやめください。製品が破損したり、落下する恐れがあり、ケガや物を破損する原因となります。製品に物を吊り下げたり、ぶら下がらないでください。製品が破損したり、落下する恐れがあり、ケガや物を破損する原因となります。

注意 火のそばでのご使用は絶対におやめください。強風の時は、必ず窓を閉めるかスクリーンを畳んだ状態にしてください。製品の破損や思わぬ事故の原因につながる可能性があります。昇降動作の範囲内に破損の恐れがある物や操作の障害となる物を置かないでください。また、操作の際は範囲内に人がいないことを必ず確認してください。必ずリモコンや、手動スイッチで操作を行ってください。スクリーンやレールを持って操作を行わないでください。

警告 付属のブラケット取り付けネジは木部用です。木部以外の下地(石膏ボード等)には使用しないでください。

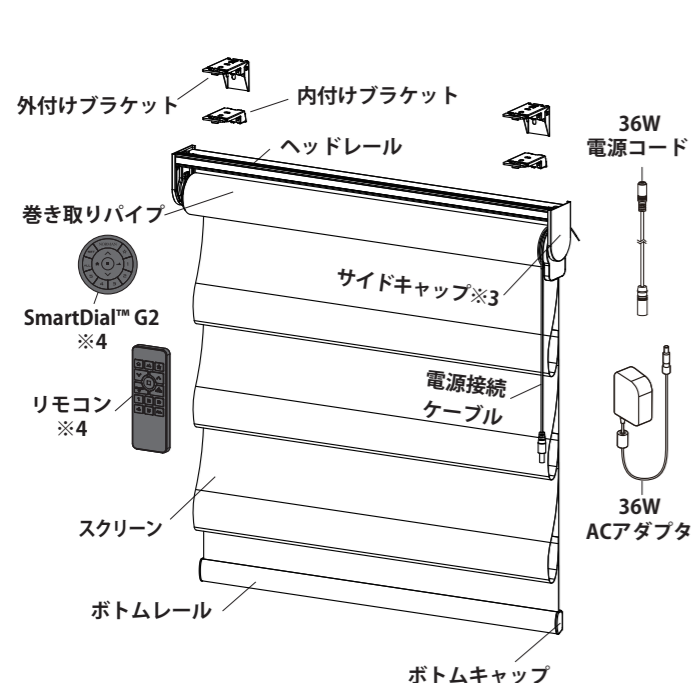
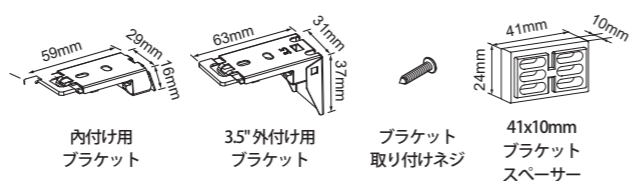
注意 本書に記載されているブラケット取り付け数量と取り付け位置は必ずお守りください。本体が落下し、ケガをしたり物を破損する恐れがあります。

注意 設置作業の際には、作業範囲内に破損の恐れがあるものや、作業の妨げになるものがないことを確認の上、作業環境の養生準備を確実に行ったうえで設置作業を行ってください。

注意 本製品は室内用です。屋外へは取り付けしないでください。

注意 高温、多湿の条件(サウナ・給湯器近く・ボイラー室等)への取り付けは絶対におやめください。

注意 製品は、左右平行(水平)になるように取り付けてください。

製品全体図及び部品名称、付属部品
スクリーン本体ACアダプタ式

付属部品の数量

【窓枠天井付け、鴨居付け、カーテンボックス付けの場合】

製品幅(mm)	内付け用ブラケット	ブラケット取り付けネジ※
~1016	2	4
1017~2032	3	6
2033~	4	8

※ ネジは木部用です。木部以外の下地(石膏ボードなど)には使用できません。通常は19mmのネジが付属しますが鴨居付けの場合は31mmのネジが付属します。

【窓枠正面付け、壁面付けの場合】

製品幅(mm)	3.5"外付け用ブラケット	ブラケット取り付けネジ※1	41x24x10mm ブラケットスペーサー※2
~1016	2	4	2
1017~2032	3	6	3
2033~	4	8	4

※1 ネジは木部用です。木部以外の下地(石膏ボードなど)には使用できません。通常19mmのネジが付属します。壁面付けでブラケットスペーサー1個使用の場合は38mm、2連は51mm、3連は63.5mmのネジが付属します。

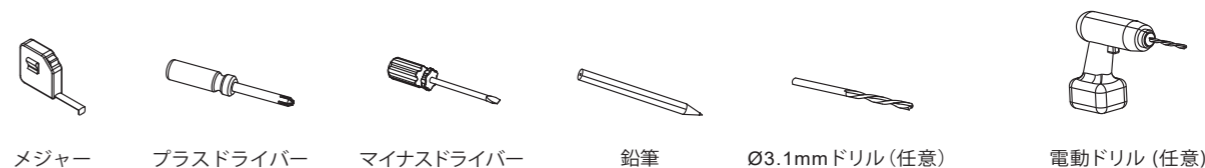
※2 上記ブラケットスペーサーの数量は1個の場合で、2連、3連の場合は、ブラケットスペーサーの数量を増やしてください。ご指定がない場合(標準)、ブラケットスペーサーは付属しません。スペーサーが必要なときは漏れがないよう、注文内容に十分ご注意ください。

※3 バランスオプションを選択された場合、サイドキャップは付属しません。

※4 リモコンとパワーロッドとSmartDial™ G2の取扱説明は各製品の説明書をご確認ください。

取り付け手順

取り付けの際にまず下記の道具をご用意下さい



取り付け手順は次の順になります。

① 製品の確認 → ② ブラケットの取り付け → ③ 遮光ボードの取り付け(オプション)※ → ④ スクリーン本体の取り付け → ⑤ 本体ACアダプターの接続 → ⑥ 遮光サイドフレームの取り付け(オプション)※ → ⑦ 型バランスの取り付け(オプション)※

※ オプション選択のない場合、次のステップにお進みください。

1 製品の確認

- 内容物にキズがつかないように開梱し、下記部品が揃っていることをご確認ください。 ※オプションを選択した場合のみ
 - ・スクリーン本体 ・付属品ボックス ・取り扱い説明書 ・保証書 ・オプションアイテム(※) ・オプション付属品(※)
- ※ オプションを選択した場合のみ
- 取り扱い説明書に従い、付属品ボックス内のパーツ数量を確認します。

注意 取り付けが完了するまで操作はしないでください。故障の原因になります。

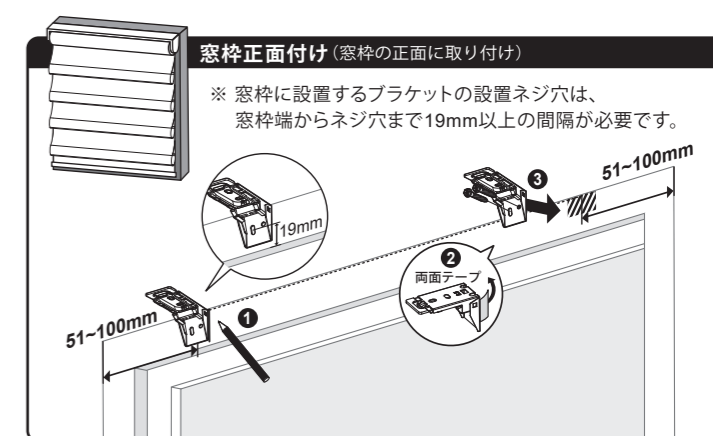
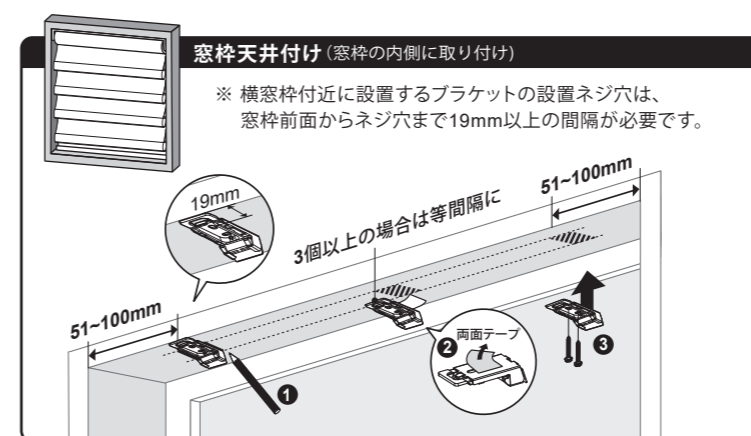
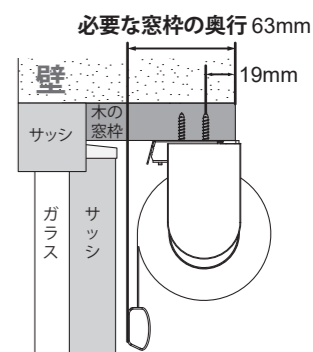
2 ブラケットを取り付け

- 最初に両端のブラケット取り付け位置を決めます。ブラケットをヘッドレールの両端部から約51~100mm内側に両面テープで仮止めしてください。各ブラケットが左右平行(水平)になるようにして、ネジでしっかりと固定してください。
- ブラケットを3個以上使用する場合は、中間のブラケットの間隔が等間隔になるようにしてください。

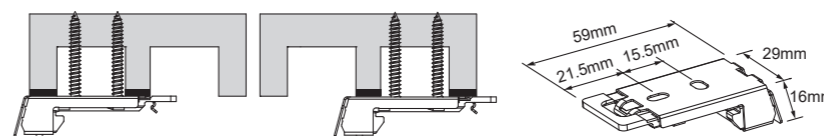
ご注意ください

- ① 窓枠内の収まりについては仕様書のP60の必要寸法と規定ヘッドレール位置をご確認ください。
- ② 設置場所が最低奥行き寸法の場合、右図に従って、指定寸法を確保しネジを固定してください。

【重要】 ブラケットを設置後にご確認ください。ブラケットを取付け後に、まずブラケットの透明のプラスチックを押し、手を放した際に、プラスチック部品が自動的に戻ることを確認してから、製品を取付けてください。もしプラスチック部品が反発しない場合、製品が落下する可能性がございます。ご注意ください。その際は、ネジを1回転ほど緩めて、もう一度プラスチック部品が自動的に戻ることを確認してください。それでもプラスチック部品が反発しない場合、交換の必要があります。



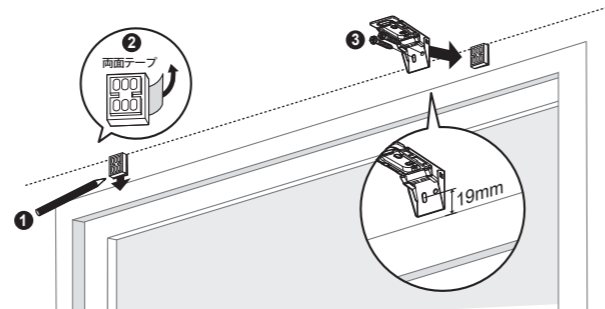
- ① ブラケットが2点の平面に接することを確認し、ネジを凹凸箇所へ差し込み固定してください。
- ② ブラケットを3個以上使用する場合は、中間のブラケットの間隔が等間隔になるようにしてください。



※ 障子枠(鴨居)の取り付けには基本的問題ありませんが、必ず下地の有無や強度を確認してください。

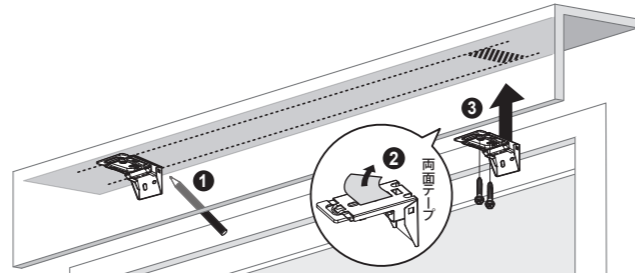
壁面付け (窓枠の上の壁面に取り付ける場合)

- ブラケットスペーサーを使用する壁面付けの場合は、取り付け箇所にはブラケットスペーサーを両面テープで仮止めしてください。ブラケットを左右平行(水平)に、採寸された高さと同じ高さの位置に取り付けてください。
- 図のようにネジ穴から窓枠端まで19mm以上の間隔を推奨します。



カーテンボックス付け (カーテンボックスの中に取り付け)

- 最初に両端のブラケット取り付け位置を決めます。ヘッドレールの両端部から約51~100mm内側に位置を決め、各ブラケットが左右平行(水平)になるよう仮止め中のネジをしっかりと固定してください。
- ブラケットを3個以上使用する場合は、中間のブラケットの間隔が等間隔になるようにしてください。

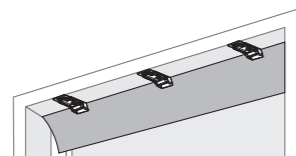
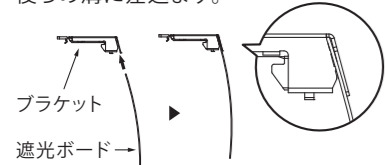


3 遮光ボードの取り付け・取り外し(オプション)

※オプション:遮光ボード無しの場合は省略

遮光ボードの取り付け

遮光ボードを下部から上部のブラケット後ろの溝に差込みます。



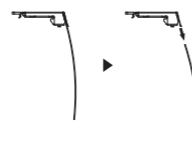
遮光ボードの向きについて

室外側向けます
湾曲したボードの山側を室外側向けます。

遮光ボードの取り外し

ブラケットから遮光ボードを取り外します。

※ ブラケットの返しツメにより、取り外す時には遮光ボードに疵がつくことがあります。



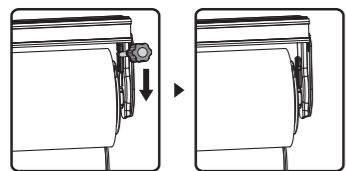
遮光ボードを矢印の方向に引き出すと、取り外すことができます。

4 スクリーン本体の取り付け・取り外し

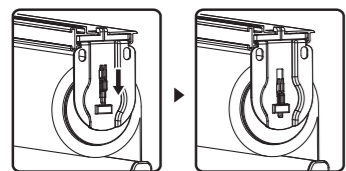
スクリーン本体の取り付け

スクリーン本体を、下記の手順でブラケットに固定します。

- 図の通り、マイナスドライバーなどで矢印の方向にツマミを下ろしロック状態にします。



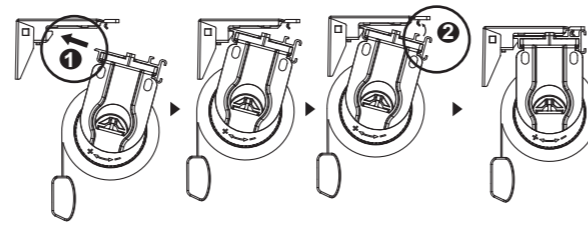
正面① 正面②



側面① 側面②

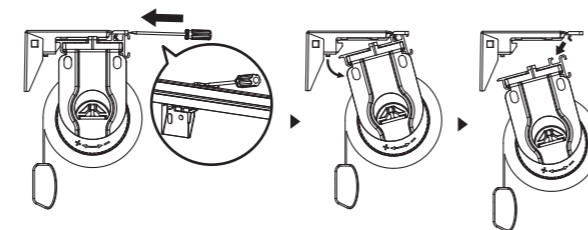
- スクリーン本体を、ブラケットに固定します。

- ① ヘッドレール後部突起部分をブラケット奥の樹脂部分に差し込みます。
- ② その後、ヘッドレール前部はめ込み部分をブラケットの先端のツメに押し込みしっかりと固定します。



スクリーン本体の取り外し

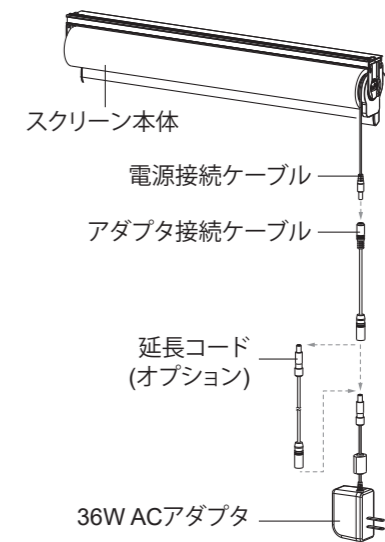
マイナスドライバーなどの工具を使い、ブラケットの樹脂部分を奥に押し込み、ブラケットからヘッドレールのロックを外します。



5 本体ACアダプターの接続

- 36W ACアダプタを本体に接続するスクリーンに電源を入れる

- ① 36W ACアダプタをアダプタ接続ケーブルに接続します。
- ② アダプタ接続ケーブルを本体の電源接続ケーブルに接続します。
※接続された状態で出荷されます
★ 延長コードの接続が必要な場合は、アダプタを先に延長コードに接続したのち、アダプタ接続ケーブル、電源接続ケーブルの順に繋げます。
- ③ アダプタを電源に差し込みます。自動で指示灯が緑色に点滅し、スクリーンに電源が入った状態になります。



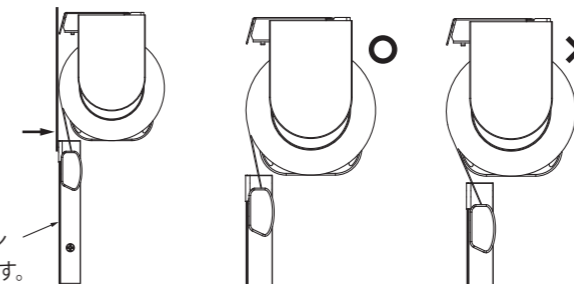
6 遮光サイドフレームの取り付け(オプション)

※オプション:遮光サイドフレーム無しの場合は省略

- 必ずスクリーン本体と遮光ボードの取り付け後に、遮光サイドフレームの取り付けをしてください。

- 遮光サイドフレームはスクリーン裏(室外側)に左右1本ずつ取り付けます。

- ① 取り付けの前に、設置位置を確認し鉛筆でマークします。
- ② 35mmの面の内側と巻ききったスクリーン背面の位置を合わせます。
※ 巻き上がったスクリーンの位置は巻き代により変動します。



35mmの面の内側と巻ききったスクリーン背面の位置を合わせます。

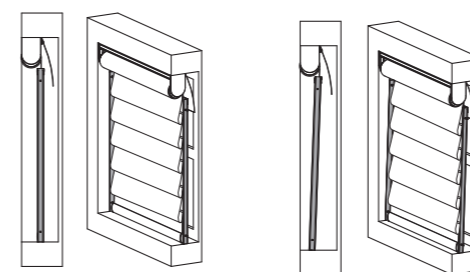
※ 遮光フレーム設置用18.5mmネジ、1台ごとに4本付属しています

注意 サイドフレームを設置する際、35mmの面が巻き取りパイプに近づけすぎないようにご注意ください。生地背面と遮光サイドフレームが干渉してしまう恐れがあり、生地に干渉してしまうと、破れや操作不良の原因となることがあります。

- 位置が決まったら、両面テープの剥離紙を取り、遮光サイドフレームを取り付けます。

- 遮光サイドフレームにネジ穴が上下各1箇所あります。

落下防止のため、最後に付属のネジでしっかりと締めてください。

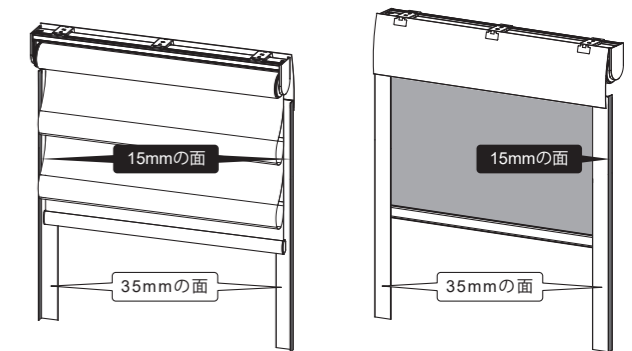


垂直設置

傾斜設置

遮光効果を高めるために、左図のように少し傾けて取り付けることも可能です。

- 設置完了イメージ



室内側から見た図

室外側から見た図

注意 ネジは設置面に対し垂直に締めてください。ネジが斜めに固定されるとネジ頭が枠内に突出し、生地の昇降を妨げ、製品を破損する恐れがあります。

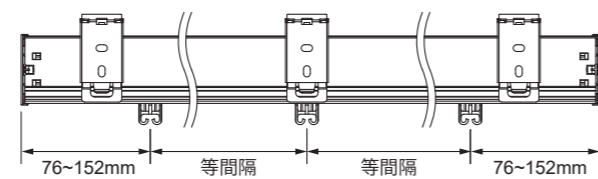
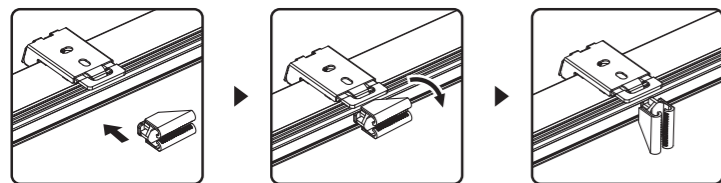
注意 サイドフレームは両面テープで取り付けるため、取り外しの際に壁紙を破損する可能性がございます。あらかじめご了承ください。

バランスの取り付け手順

本体を取り付け後、問題なく操作できることを確認次第、バランスを取り付けます。

① バランス固定ハンガーを取り付け

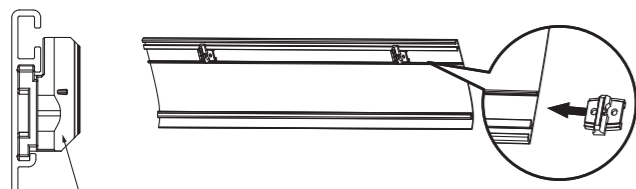
バランス固定ハンガーを水平にし、ヘッドレールの溝に入れ、垂直方向に回してください。



バランス固定ハンガーの設置位置は図のように両端から76~152mm、中間のハンガーは両端と等間隔が均等になるようにしてください。

② ハンガー固定ベースの取り付け

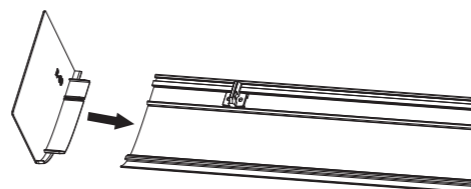
ハンガー固定ベースをバランス裏面のレールにスライドします。



ハンガー固定ベースの突出部分を上向きにしてください。

③ バランスキャップの取り付け

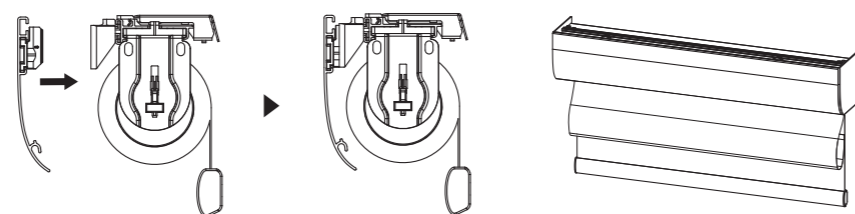
バランスキャップを下図の通り、溝に合わせて差し込みます。



④ バランスとヘッドレールの取り付け

ハンガー固定ベースをスライドさせ、バランス固定ハンガーと合わせてから水平に押し込みます。

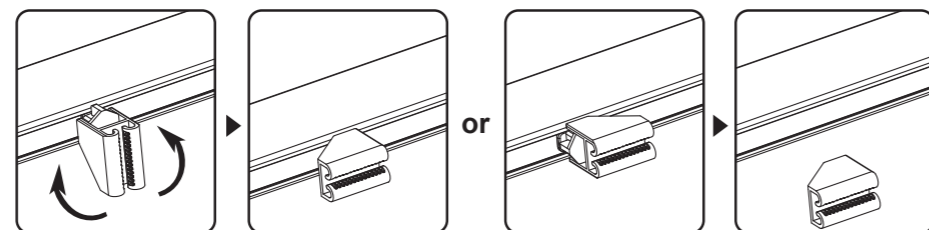
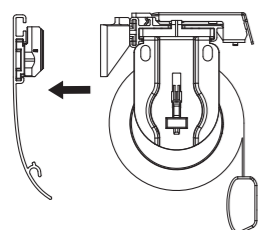
また、J型バランスの高さを調整する際にハンガー固定ベースがバランス固定ハンガーを付けたまま上下の調整ができます。



バランスの取り外し

■ バランスを水平に外に取り出します。このとき、ハンガー固定ベースも一緒に取り外してください。

■ バランス固定ハンガーを外す場合、まずはスクリーン本体を取り外します。固定ハンガーを水平にしてから、横方向にスライドさせ、ヘッドレールの端から取り出します。



電源と本体の接続

	スクリーン本体 ACアダプタ式
本体コンセント接続	必要
延長コードの接続	本体電源接続ケーブルからACアダプタまで

■ スクリーン本体 ACアダプタ式 電源起動手順

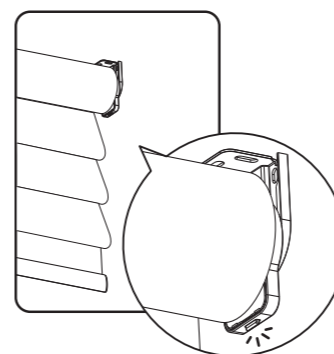
- ケーブル類を繋げる。
 - ・スクリーン本体の『本体電源接続ケーブル』からACアダプタの接続端子に接続してください。
 - ・延長コードを使用する際は、『本体電源接続ケーブル』を延長コードの接続端子に接続した後、延長コードをACアダプタの接続端子に接続してください。
- ACアダプタをコンセントにさしこみます。
- コンセント差し込み後、スクリーン本体に電源が入ります。表示灯が緑色に点滅し、電源が入ったことを知らせます。

あれっ?て思ったとき

こんなとき(症状)	考えられる原因	こうする(処置)
スクリーンが操作できない	スクリーンが電波を受信していない	リモコンでスクリーンを操作して、スクリーンの表示灯を確認してください。 緑色に点滅：スクリーン受信状況は正常です 赤色に点滅：低電力/スクリーン温度異常 赤、緑色が交互に点滅：その他の異常 表示灯が光らない：電波を受信していない/グループ設定ができていない/電源が入っていない
	リモコンのバッテリー残量不足	グループボタンが正常に光ることをご確認ください。または、電池を交換してください。
	グループ設定を行っていない	リモコンのグループボタンで設定を行ったグループのボタンを長押ししてください。正常に設定されているスクリーンが、上下動してお知らせします。未設定の場合は、リモコンの取扱説明書の手順に従って設定を行ってください。
	スクリーン温度異常(温度が高い/温度が低い)	スクリーン操作時に赤色に点滅した場合、スクリーンの温度異常の可能性があります。30分ほど経過して、製品規格に記載の適切な操作温度範囲のもと操作を行ってください。
	操作ボタン未設定	リモコンのベストビュー(山の表示)/ベストプライバシー(家の表示)ボタンを押して、スクリーン表示灯が緑色に点滅、正常に動作するか確認をしてください。スクリーンが動かない場合、限界位置が未設定の可能性があります。リモコンの取扱説明書の手順に従ってスクリーンの限界位置を設定してください。 ※スクリーンはすべての限界位置を設定完了後、すべての機能が使用できます
スクリーンの自動停止位置が変わった(限界位置のずれ)	急な電源の切断	再起動：手動スイッチを3秒長押しで電源の入れる/切るを行います。電源を切る場合は、表示灯が赤く点滅します。電源を入れる場合は緑色に点滅します。再起動でも異常の復旧ができない場合は次項の"本体強制再起動"を試してください。 本体強制再起動：手動スイッチを10秒長押ししてください。表示灯が赤色に点灯したらスイッチを離してください。本体が強制再起動します。以上の各対応方法で解決できない場合はお問合せください。
	その他の異常	再起動：手動スイッチを3秒長押しで電源の入れる/切るを行います。電源を切る場合は、表示灯が赤く点滅します。電源を入れる場合は緑色に点滅します。再起動でも異常の復旧ができない場合は次項の"本体強制再起動"を試してください。 本体強制再起動：手動スイッチを10秒長押ししてください。表示灯が赤色に点灯したらスイッチを離してください。本体が強制再起動します。以上の各対応方法で解決できない場合はお問合せください。
スクリーンの自動停止位置が変わった(限界位置のずれ)	急な電源の切断	急な電源の切断により、上下限界位置がずれる場合があります。リモコンの取扱説明書の手順に従って再度上下限界位置の設定を行ってください。
	その他の異常	お問合せください。

手動スイッチ機能説明

本体ACアダプタ式



サイドキャップに設置されている手動スイッチは、リモコンの電池切れや緊急時の際にスクリーンを操作することができます。
静止中に押す：スクリーンが昇降を行います
昇降中に押す：スクリーンが停止します。

また、電源スイッチとしてスクリーンの電源を入れる・切ることができます。
スクリーンの電源を入れる：スイッチを3秒長押し、表示灯が4回緑色に点滅します。電源が入ります。
スクリーンの電源を切る：スイッチを3秒長押し、表示灯が4回赤色に点滅します。電源が切れます。

使用上のご注意

- ▶ 表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。
- ⚠ 警告 製品の取り扱いを誤った場合、死亡または重傷につながる内容を示しています。
- ⚠ 注意 製品の取り扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。
- ⚠ 危険 製品の取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。
- ▶ お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。
- 🚫 製品の取り扱いにおいて、その行為を「禁止」する内容です。
- 🛑 製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を「強制」する内容です。

⚠ 注意

🚫 ▶ 製品以外への給電、非対応機器での充電をしない

⚠ ▶ 充電方法

ご使用前に必ず本書をお読みになり、正しい方法で充電を行ってください。

⚠ ▶ 初回使用時

初回使用時、異臭・発熱・サビ等が見られた場合、すぐに使用をやめ、販売店へご連絡ください。

🚫 ▶ 可燃物付近での使用

可燃物の近くで使用・充電を行わないでください。発火により火災の恐れがあります。

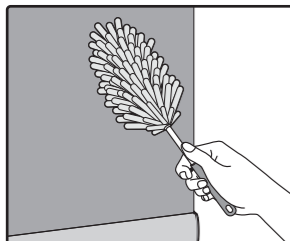
⚠ ▶ 露出されたリード線や金属端子部の取り扱い

断線等でリード線や金属端子部分が露出した場合、危険ですので電気絶縁用ビニールテープなどで一時的に絶縁処理を行ってください。感電やショートにより発熱、破裂、発煙、発火の原因となります。

⚠ ▶ 廃棄方法

ご不要になった場合、各自治体の指示に従って処分してください。

お手入れ方法



- 日頃のお手入れは、小型のほうきや羽根はたき、またはハンドモップなどで、表面のほこりをやさしく落としてください。本体布の隙間にほこりが付着した場合は、ドライヤーを「冷風（加熱なし）」モードに設定し、軽く吹き飛ばしてください。布地の損傷を防ぐため、温風の使用はお控えください。汚れがひどい時は、やわらかい布で部分的に水拭きしてください。洗濯や洗浄力の強い洗剤は使用しないでください。ドライクリーニングもおすすめしません。また、低吸引力のハンド式清掃機の利用も可能です。



警告

スクリーンに深刻な影響を与えるような洗剤、硬い掃除道具などは使用しないでください。またお手入れするとき生地を折らずにお掃除ください。

梱包材の処理方法

- 梱包材は可燃ゴミと不燃ゴミに分別して処理してください。
- 各自治体により分別基準が異なりますので、それぞれの自治体の規定に従って処理してください。

メンテナンスシールについて

- お買い上げいただいた製品情報はメンテナンスシールに記載しております。製品に関するお問い合わせはメンテナンスシールをご確認ください。

ノーマンジャパン株式会社

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-23-15 A-PLACE 代々木3階

お客様サービス窓口：0120-051-507（お問い合わせ時間：平日9時30分～18時）

ホームページアドレス：

<http://www.norman.co.jp>